

# 国の進路を問われる激動の年！ 常任委員を先頭に意気高く！

## 第5回常任委員会(1/14開催)報告

第5回常任委員会が1月14日(土)に開催され、12月18日の第4回常任委員会の討議を補強しました。「なかまづくり」「東海第二原発廃炉署名」と「脱原発県民集会のとりくみ」をより具体化しました。



1月13日午後、増税の姿勢を鮮明にした野田改造内閣が発足しました。世論調査でも「社会保障と税の一体改革」の内容は「国民に説明していない」との回答が74.4%(共同通信社)に達しています。一方米国議会は、普天間基地移設の難航を理由にグアム移転関連予算をカットしました。米軍は普天間移設の早期決着を要求し、これを受けた野田政権は昨年末、県民の目を盗む早朝、辺野古の環境影響調査書を沖縄県へ提出しました。仲井真弘多知事は「提出を受け入れる」と表明しました。一方名護市では、環境影響評価書の強行提出に対する抗議決議を可決(1/13)しました。私たちは、アメリカと野田政権に「米軍基地ノー」の意思を突きつけなくてはなりません。

原発は、相次いで定期検査に入り、政府の安全評価をパスしても、地元自治体の理解が得られなければ、4月下旬に国内にある54基すべての原発が停止します。「原発をなくす全国連絡会」が3月11日に、全国一斉行動を呼びかけています。集会や学習会などでも、これまで運動など経験したことのない人も立ち上がっています。

野田政権は、①農業だけでなく中小企業のものづくりや医療、サービスを根底から破壊するTPPへの参加強行、②「議員の定数削減」を口実に、「政党助成金廃止」には一切ふれず、小選挙区制の弊害部分を緩和する制度の比例区80名を全部削減する「民意の切捨て」、③国民年金の掛け金をアップする一方で、年金支給の切り下げや支給開始年齢の先延ばし、④医療費の増額等、国民生活破壊の政策が目白押しです。

八ツ場ダムの再開や東京外環道路工事の復活、一機100億円ともいわれるF35戦闘機の購入など、ムダ使いをさらに拡大しています。

一方で大企業には一兆2000億円の法人税減税、大資産家には年間5000億円の証券優遇税制を継続しています。これをやめれば1兆7000億円の財源がうまれます。

日本経済が苦しんでいる時に、消費税増税等で今後16兆円もの負担増が実施されれば、国民生活の破綻と同時に、財政再建もさらに行き詰まります。総選挙で民意を問うべきです。

### とりくみの内容

#### 1 仲間づくり

- 各平和の会・平和委員会が「仲間づくりを討議する会議」を開催します。

「仲間づくりを討議する会議」に、代表理事や事務局長が参加します。

#### 2 東海第二原発廃炉のとりくみ

- ・6月頃：東海第二原発の試運転開始そのまま定常運転か？
- ・8月上旬：東海第二原発の定期点検終了(予定)

- ①「東海原発を廃炉に」署名は、会員一人20筆(全体2万筆)
  - ・意義と具体化について、会に持ち帰って話し合う。
  - ・取り組んでいなかった会は取り組みを進め、取り組んだ会はさらに輪を広げる。

- ②「東海第二原発の再稼働反対・廃炉に」(仮称)の自治体
  - ・請願(陳情)書の提出を進める。
  - ・北茨城市 取手市 五霞町で「再稼働反対」「廃炉」の

請願・意見書等を採択

- ③「茨城に原発は入らない」対策委員会の開催

内容：学習活動の資料 チラシ等の作成

- ④「県平和委員会活動交流集会」の開催

○とき 3月17日(土) 13:30~

・取り組みの交流を中心に、活動交流集会を開催します。

- ⑤「脱原発県民集会のとりくみ(実行委員会形式で開催)」

○とき 4月1日(日) 場所 笠松運動公園

- ⑥「憲法フェスティバル」

○とき 5月3日(木) はなみずき公園(水戸千波)

・内容 「憲法を活かし平和な生活を」

・賛同者・賛同団体を募る。個人1口・1000円

団体1口・3000円

- ⑦「県平和委員会20周年記念事業」のとりくみ

○1月31日までに実行委員を確定、第3回理事会で決定す。

○「記録誌作成」と「レセプションの開催」が中心。

# 戦争も基地もいらない

沖縄とこころをひとつに

『2012 百里初午まつり』

で平和を語ろう！！



各平和委員会のみなさんは、お誘い合わせてご参加ください。

百里平和公園は、お待ちしております。

2月11日(土・祝日)

午前10時頃から模擬店が始まります。

式典は、12:00から行います。

出店する場合は、事前に県平和委員会まで電話でご連絡ください。

## 平和新聞

2012年1月15日・1月25日 合併号

1976号(毎月5,15,25日発行)

1950年12月16日第三種郵便物許可 発行 日本平和委員会  
1部140円 月額400円 〒105-0014 東京都港区芝1-4-9 平和会館  
(郵送料月額120円) 電話03(3451)6377 FAX03(3451)6277

## 平和かわら版 平和新聞茨城版 No.614 合併号

2012.1/15  
発行：茨城県平和委員会 〒310-0912 水戸市見川5-127-281  
Tel/Fax 029-251-2806 E-mail ibahei@amber.plala.or.jp

# 宜野湾市長選挙で、伊波洋一さんを勝利させるために！

沖縄県宜野湾市で、安里猛市長の病気辞職に伴う市長選挙が、2月5日告示、12日投票でたたかわれます。この選挙に伊波洋一さんが立候補を表明し、革新市政の継続のためにたたかっています。



## 普天間基地の閉鎖・撤去、基地の県内移設 反対の県民総意を貫くために！

地元では、普天間基地の閉鎖・撤去、基地の県内移設反対を求める多くの市民・県民が、伊波洋一さんの勝利をめざして取り組んでいます。

伊波洋一さんは、昨年11月の県知事選で大奮闘し、米軍基地の県内移設反対を求める県民の総意形成に貢献しました。以後も基地の県内移設反対を訴えている信頼できる人です。

相手候補は、自民党県連政調会長の県議です。辺野古新基地建設を強硬に主張し、日米同盟の強化、在日米軍の必要性を説いてきた人物でもあります。

また、沖縄戦の本質を歴史教科書から排除し、皇室や自衛隊を美化して、改憲をめざす、極右団体・日本会議の構成員でもあります。

このような人物に宜野湾市政が渡れば、辺野古新基地建設をめぐる環境影響評価書の提出が強行された現在、知事意見に大きな影響が及ぶ恐れがあります。

さらに相手陣営は、自公に加え反動陣営総動員で市政奪還を目指しています。県民の宝でもある宜野湾革新市政を渡してはなりません。茨城県平和委員会は会員と県民の皆さんに物心両面の支援を訴えます。



【2010年8月25日茨城県平和委員会「沖縄ツアー」参加の21名は、2日目に宜野湾市役所の伊波市長(当時)への表敬訪問を行いました。】

宜野湾市長選へのカンパは、県平和委員会で取り纏めます。県平和委員会へ、ご連絡下さい。

又、直接送られる方は、下記となります。

● 募金送金先 郵便振替口座 番号 01710-8-62723

名義 沖縄県統一連

● 〒901-2204 沖縄県宜野湾市上原2-6-7 上江洲アパート1階

## 「安全神話」の弊害

### 『政府の事故調査委員会でも

### 認めざるを得なくなっている。』

東京電力福島第1原発（福島県大熊町、双葉町）事故に関する政府の「事故調査・検証委員会（委員長・畑村洋太郎東大名誉教授）の中間報告が12月26日、公表されました。

500ページに及ぶ報告書ではまず、東電が重大事故に備えて現場の運転員らを十分に訓練していなかったと指摘。3月11日の地震で約15メートルの津波が到達した後、1号機の非常用復水器（IC）が電源喪失によって停止したことを運転員らが認識できず、対応や報告が遅れたとしている。

そのうえで、現場も東電本店側も非常用装置の仕組みを十分に理解していなかったという状況は「原子力事業者として極めて不適切だった」と批判した。12日に1号機で水素爆発が起きたのに続き、14日には3号機の建屋が爆発した。報告書は3号機についても、状況への認識不足で注水による冷却作業が遅れたと指摘した。

また、政府の対応について、原子力事故を想定した手順に従わず、安全性を優先した決断を下せなかったことや、動きが遅く、国民への情報提供が限定的であいまいな表現に終始したことを批判している。現地対策本部が設置されたオフサイトセンターが放射性物質による汚染に対応していなかったこと、事故対策がもともと事業者の自主性に委ねられていたことも、問題点として挙げられた。

同委員会は2012年夏までに最終報告書をまとめる予定。

## [シリーズ] わが街・わか会員

つくば市 / 富澤 和男 さん（つくば平和の会）



筑波研究学園都市平和委員会（つくば平和の会）は研究機関の筑波移転後の1980年頃に結成された平和委員会です。近年、つくば平和の会は様々な問題を抱え、細々と継続していましたが、2010年からは少しずつ活動を再開しております。

話は変わりますが、2011年3月11日の東日本大震災は、私たちの生活基盤と生活スタイルの見直しを余儀なくし、物事の考え方や捉え方にも大きく影響を与えました。

わが家は屋根瓦等の被害だけで済みましたが、これから続く福島原発事故による放射線の影響が心配です。事故当初から放射線被曝の危険性が危惧される中、東京電力と政府はその事実を隠蔽し、報道機関はそれに同調しました。その罪は大きい。後に、市民レベルの放射線測定等で、放射線汚染が次々と明かされ、不安は高まるばかりです。

12月16日、野田首相が原発事故「収束」を宣言し、冷温停止達成を認定しましたが、今度は、誰も騙されてはなりません。

## 第3回 理事会のお知らせ

12月18日開催の常任理事会決定にしがたい、第3回理事会を下記の日程で開催致します。ご出席、宜しく申し上げます。

と き：2月5日（日）午後1時30分～午後5時

ところ：水戸市福祉ボランティア会館（赤塚駅前ビル）内

ミオス（視聴覚室）（TEL/029-309-5001）

議 題：①秋の取り組みの総括 ②仲間づくり

③東海第二原発の廃炉をめざすとりのくみ・署名

活動・脱原発県民集会のとりのくみ

④定期大会（6月）までのとりのくみ

\*理事会終了後「新春の集い」を予定しています。

\*駅南側にショッピングセンター駐車場あります。